

医療機関群Ⅲ群のあり方について

1. これまでの検討内容について

(1) 平成 24 年度診療報酬改定における議論について

① 調整係数置き換えの背景

- 「調整係数」は前年度の診療報酬算定実績を担保することで、DPC 制度導入時の激変緩和を行うために設定されていたが、その設定の趣旨を踏まえて段階的に廃止し、新たな係数に置き換えることとされた。
- 平成 24 年度診療報酬改定において、「調整係数」により設定されていた包括報酬部分については、今後段階的に「基礎係数」及び「機能評価係数Ⅱ」に置き換えることとされた。

平成 24 年度診療報酬改定における「調整係数」の見直し

調整係数 → 基礎係数（新設） + 機能評価係数Ⅱ

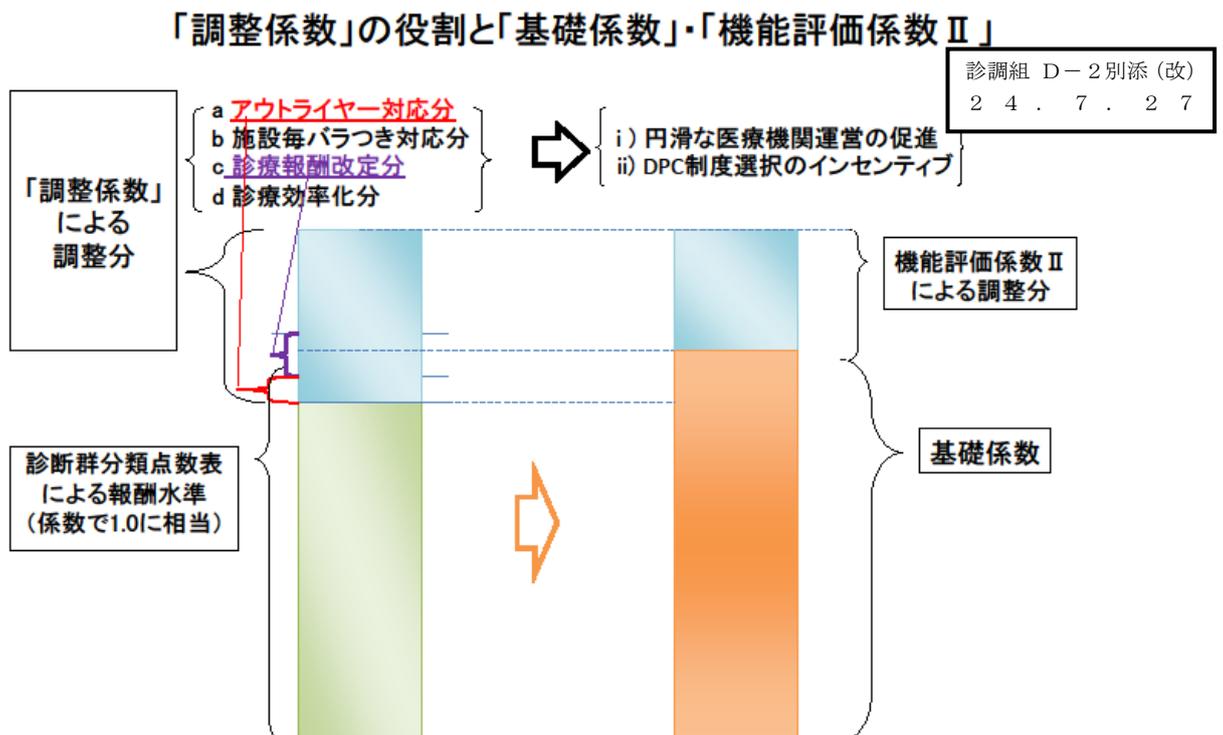
（平成 30 年度に向けて段階的に置き換え）

② 基礎係数について

(i) 基礎係数の設定の趣旨

- 調整係数については、前年度の包括評価水準を維持することから、(a)アウトライヤーの対応、(b)施設ごとのバラつきの対応、(c)診療報酬改定への対応、(d)診療効率化分の対応といった機能を担っていると考えられ、これらの機能を全て機能評価係数Ⅱに置き換えることは、今後さらに機能評価係数Ⅱの項目を拡大したとしても事実上不可能であるとの認識から、機能評価係数で評価しきれない係数部分、すなわち各施設が基本的に担う診療機能に対応する係数部分を「基礎係数」として係数設定することとなった。

<参考:調整係数の役割と基礎係数・機能評価係数Ⅱ(平成24年度第4回DPC評価分科会(平成24年7月27日)資料)>



(ii) 基礎係数の医療機関群(I群～III群)の設定の趣旨

- 基礎係数の設定に当たっては、より重症な患者への対応やより先進的な技術の実践といった、他の施設とは異なる機能や役割を担う医療機関に、他と同程度の効率化・標準化を求めることは、これらの役割や機能を担うインセンティブがなくなってしまう懸念があることから、一定の合理的な役割や機能の差が認められる医療機関について、基礎係数を分けて設定することが妥当と考えられた。

- 医療機関群の設定に当たっては、機能的な視点と診療実績データ的な視点それぞれの観点から分類の検討を行った。

<参考:医療機関群設定の視点 平成23年9月7日中医協 総—3—2より>

医療機関群設定の視点

1) 機能的な視点

- ・ 医療機関群に共通する機能や役割、診療特性等から見て、同様な機能的特性を有する医療機関群について、同程度の医療の標準化や効率化を促進する観点から分類を検討。
- ・ 同一の医療機関群に属する全ての医療機関が、画一的な医療機関であるべきという考え方に基づくものではない。
- ・ 医療機関群内の各医療機関の多様性については、基本的には基礎係数ではなく機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱで評価。

2) 診療実績データ(出来高実績データ)の視点

- ・ 診療実績データ(出来高実績データ)に関する分散(バラつき)が一定程度の範囲に抑えられることが必要。
- ・ 但し、実際の制度導入においては、今後検討する激変緩和策や機能評価係数Ⅰ・Ⅱによる補正も含め、全体として最終的なバラつきがどの程度集約できるものか否かを見極めながら検討を進めることが不可欠。
- ・ 評価指標としては、DPC/PDPSにおける基礎係数(医療機関別係数の一部)の役割を踏まえ、包括範囲の1日当たり出来高点数(診療密度)を中心に評価を行う。

- 大学病院本院は、包括範囲の1日当たりの出来高点数(診療密度)が他施設と比較し明らかに異なっており、役割や機能が明らかに他施設と異なることから別群(I群)とされた。
- 大学病院本院以外の施設については、「診療密度」、「医師研修の実施」、「高度な医療技術の実施」及び「重症患者に対する診療の実施」といった観点から、大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を有すると考えられる医療機関について別群(II群)とされた。

平成24年4月25日
DPC評価分科会 D-2

実績要件(特定機能病院は実績要件2を満たしたものとして取扱う)	
	各要件の具体的指標
【実績要件1】 診療密度	○ 1日当たり包括範囲出来高平均点数(患者数補正後)
【実績要件2】 医師研修の実施	○ 届出病床当たりの医師数(免許取得後2年目まで)
【実績要件3】 高度な医療技術の実施 ※右3つを全て満たす	○ 手術1件あたりの外保連手術指数(協力医師数補正後) ○ DPC算定病床当たりの外保連手術指数(協力医師数補正後) ○ 手術実施件数
【実績要件4】 重症患者に対する診療の実施	○ 複雑性指数(重症DPC補正後)

③ 機能評価係数IIについて

- 機能評価係数IIについては、以下の2つの観点から、医療提供体制全体としての効率改善等へのインセンティブを評価することとされた。
 - 1) 全DPC対象病院が目指す望ましい医療の実現
 - 2) 社会や地域の実情に応じて求められている機能の実現(地域における医療資源配分の最適化)
- 複雑性指数、カバー率指数、地域医療指数については、各医療機関群の特性に応じた評価手法を導入することとされた。

(2) 次回診療報酬改定に向けた議論について

- 平成 24 年 8 月 22 日中医協総会において、「基礎係数・機能評価係数Ⅱの次回改定対応に係る基本方針と今後の検討課題」について検討が行われ、基礎係数及び機能評価係数Ⅱという評価体系は、調整係数を廃止するための基本的な枠組みとして基本骨格を維持することとされた。
- 医療機関群Ⅰ群(大学病院本院)及びⅡ群(Ⅰ群に準じる病院)については、引き続き維持することとされた。
- 医療機関群Ⅲ群のあり方については、病床規模や診療特性などの医療提供体制において非常に多様な施設が含まれていると考えられることから、機能評価係数Ⅱによる評価との組み合わせも含めて、どのように考えるか、今後の実績を踏まえ検討することとされた。

2. これまでにいただいた主なご意見

- Ⅲ群の中に含まれる病院は非常に大きなバリエーションがあり、これらを平均的に評価するのは問題があるのではないか。
- Ⅲ群の中に含まれる病院は、効率性や複雑性が高い専門病院と、中程度の地域の中核病院と、効率性や複雑性が低い小さな病院に分けられると考えられるため、それぞれ別々に評価すべきではないか。
- 総合性はなくても、ある専門領域について非常に高いレベルを持ってやっているところを評価すべきではないか。
- 調整係数が暫定で残っているということを踏まえ、医療機関群設定に関する十分なデータが集まった上で議論をするべきではないか。
- Ⅲ群を細分化していくと、地域医療が崩壊する懸念があるのではないか。

3. 医療機関群Ⅲ群に関連する集計結果

(1) 平成 23 年度から 24 年度にかけてⅢ群全体の傾向について

【図1】平成 24 年度の病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数の散布図(全医療機関群)

【図2】平成 23 年度・24 年度のⅢ群の一日あたり包括範囲出来高実績点数の箱ひげ図

(2) Ⅲ群病院の類型別集計

① 専門病院について

【図3】平成 24 年度のⅢ群の専門病院、がん専門病院、その他の病院別の病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数の散布図

【図4】平成 23 年度・平成 24 年度のⅢ群の専門病院、がん専門病院、その他の病院別の一日あたり包括範囲出来高実績点数の箱ひげ図

② 中規模・小規模病院について

【図5】平成 24 年度のⅢ群の 200 床未満、200 床以上 500 床未満、500 床以上の病院別の病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数の散布図

【図6】平成 23 年度・平成 24 年度のⅢ群の 200 床未満、200 床以上 500 床未満、500 床以上の病院別の一日あたり包括範囲出来高実績点数の箱ひげ図

※集計結果データについて

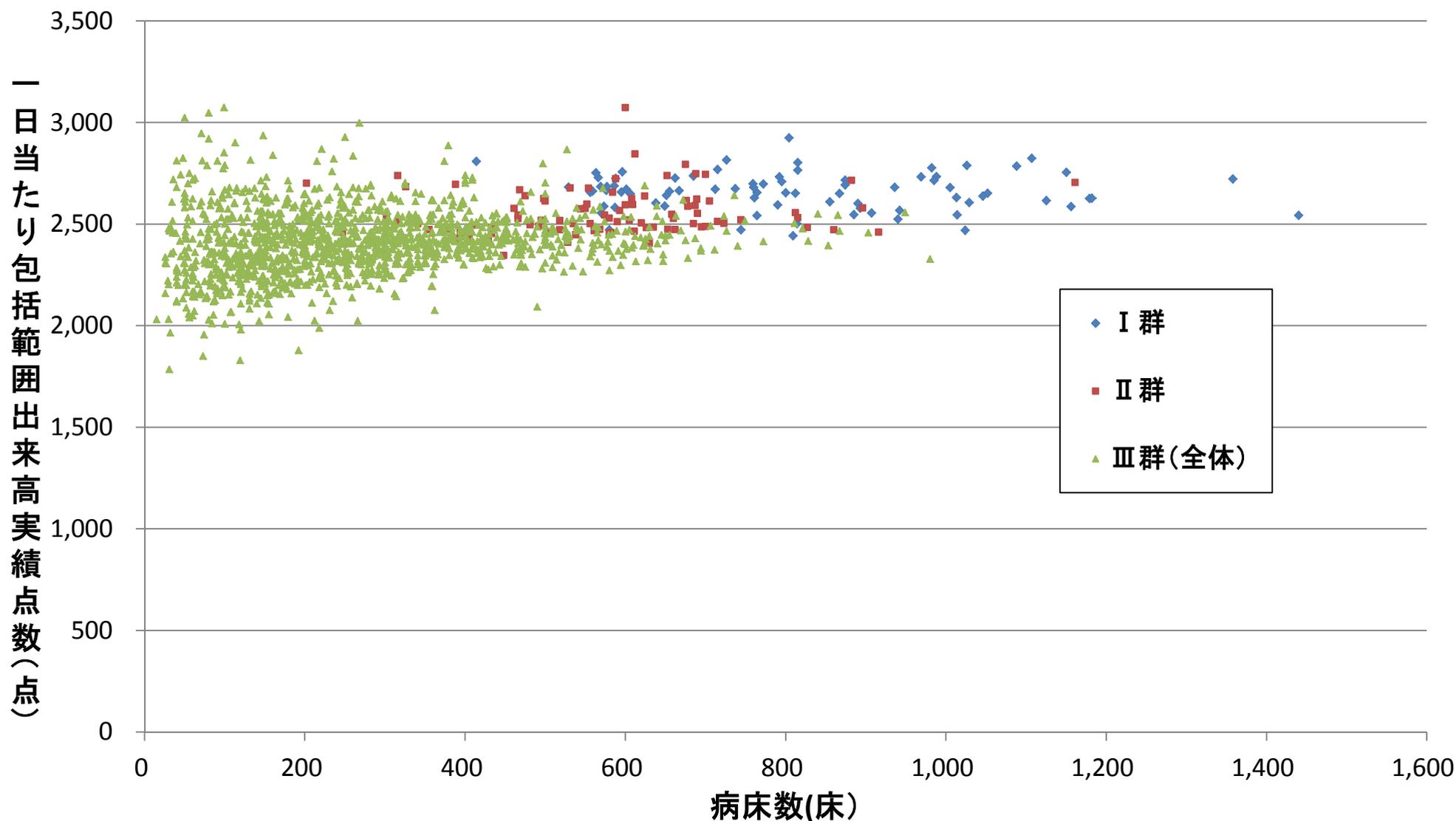
平成 23 年度データ:平成 23 年4月～平成 24 年 12 月まで(9ヶ月)

平成 24 年度データ:平成 24 年4月～平成 24 年 12 月まで(9ヶ月)

(1) 平成23年度から平成24年度にかけてⅢ群全体の傾向について

平成24年度データ

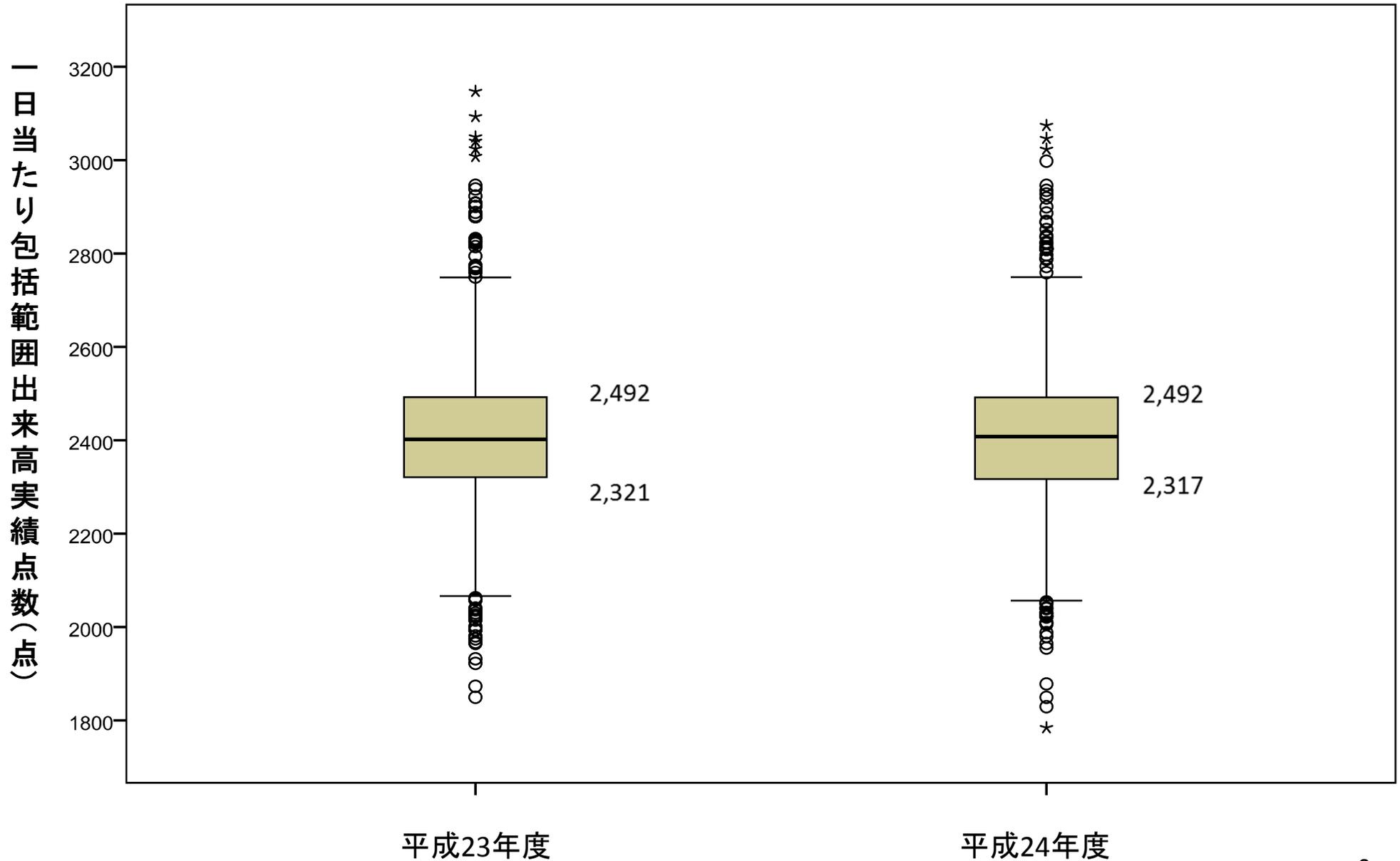
[図1] 病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数
(患者数補正後・医療機関別)(全医療機関群)



平成23年度データ

平成24年度データ

【図2】 一日あたり包括範囲出来高実績点数(患者数補正後・医療機関別)
(DPC病院Ⅲ群・経年比較)



(2) III群病院の類型別集計 ① 専門病院

○各類型の定義について

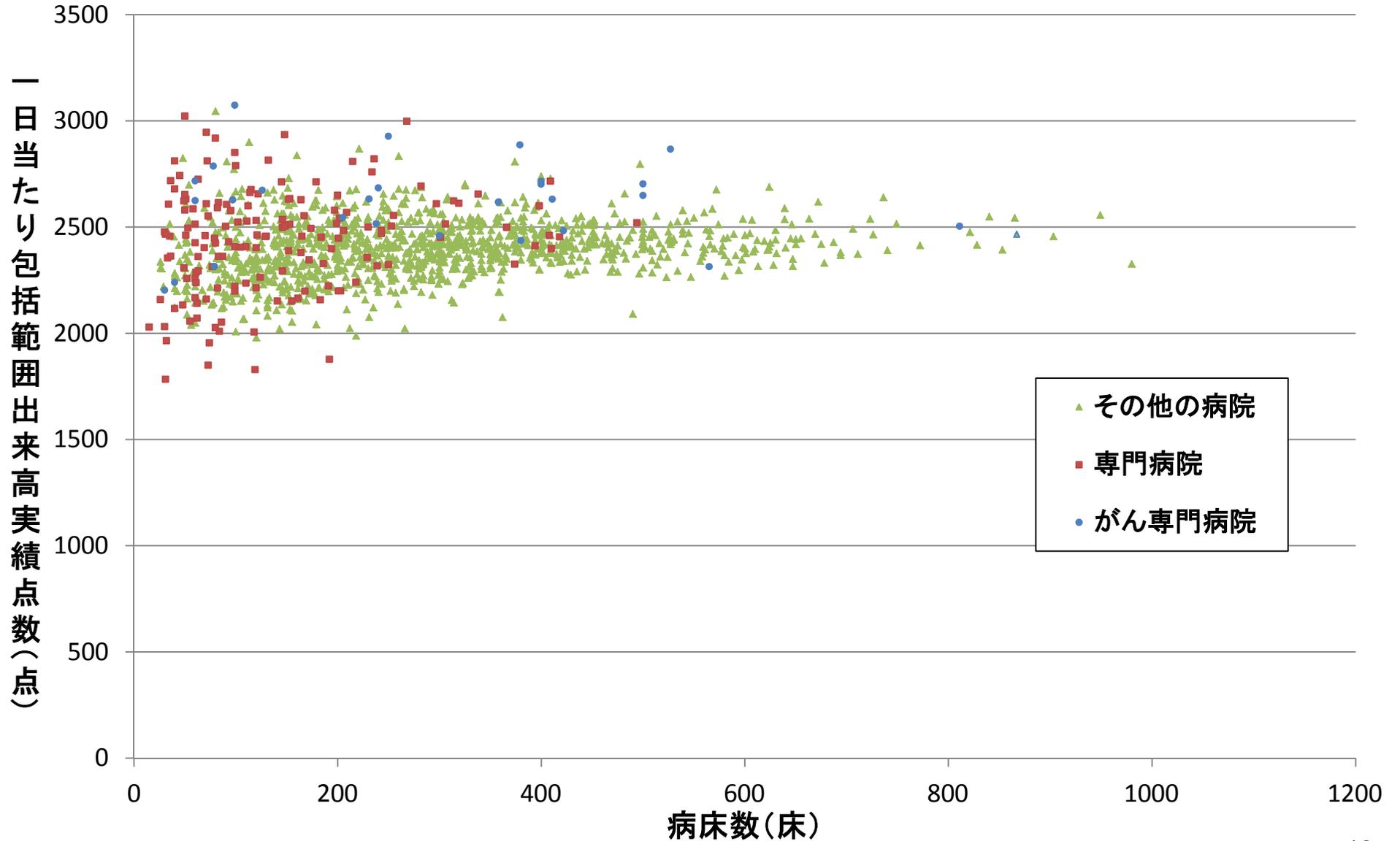
がん専門病院	入院患者に占めるがん患者の割合が40%以上
専門病院	がん専門病院以外の病院で、入院患者に占める特定MDCの患者の割合が40%以上
その他の病院	上記以外の病院

○各類型の医療機関数

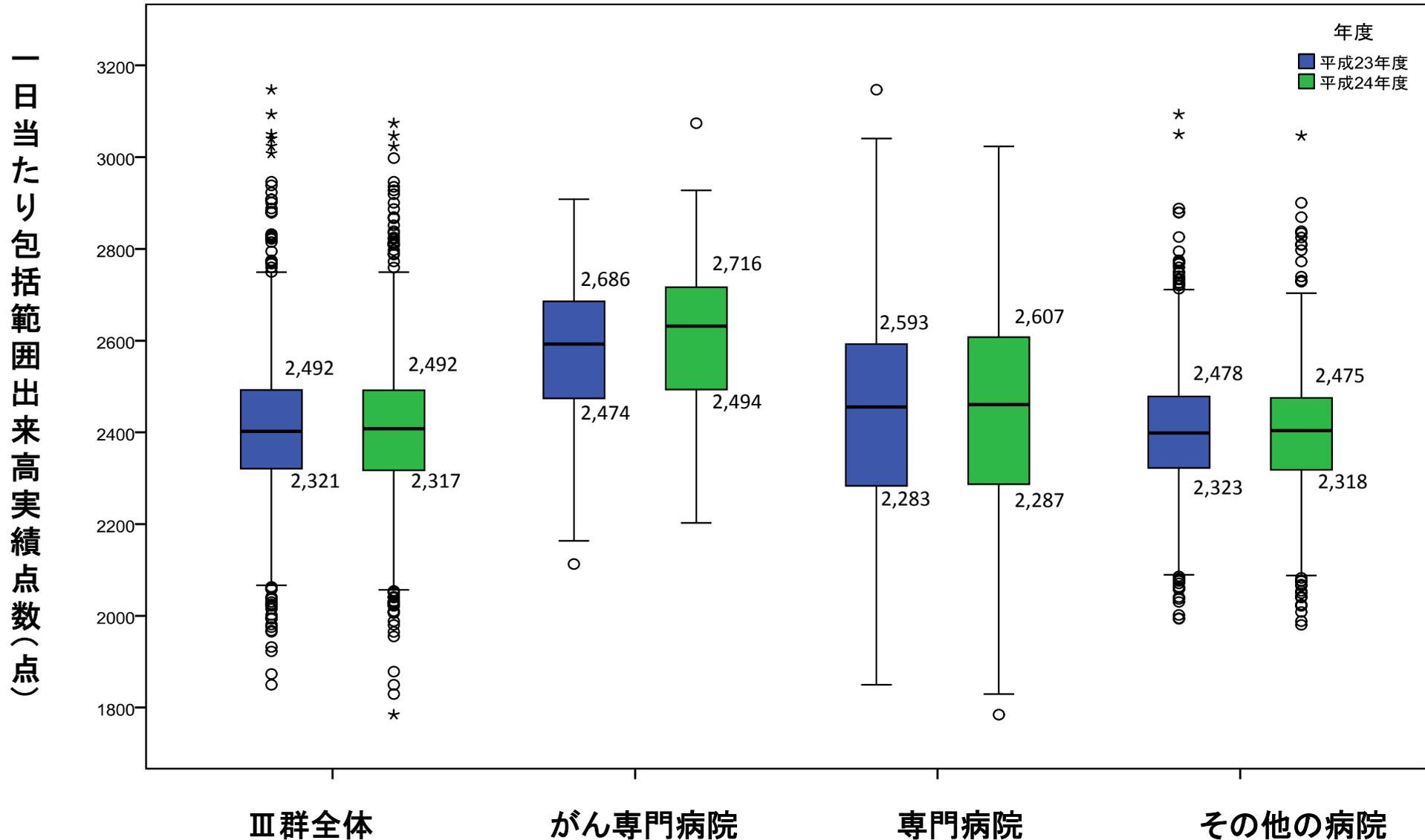
平成23年度データ	
がん専門病院	26施設
専門病院	159施設
その他の病院	1,141施設
合計	1,326施設

平成24年度データ	
がん専門病院	28施設
専門病院	154施設
その他の病院	1,144施設
合計	1,326施設

【図3】 平成24年度病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数
(患者補正後・医療機関別)(DPC病院Ⅲ群・類型①)



【図4】 各類型(専門病院等)と一日あたり包括範囲出来高実績点数
(患者数補正後・医療機関別) (DPC病院Ⅲ群・経年比較)



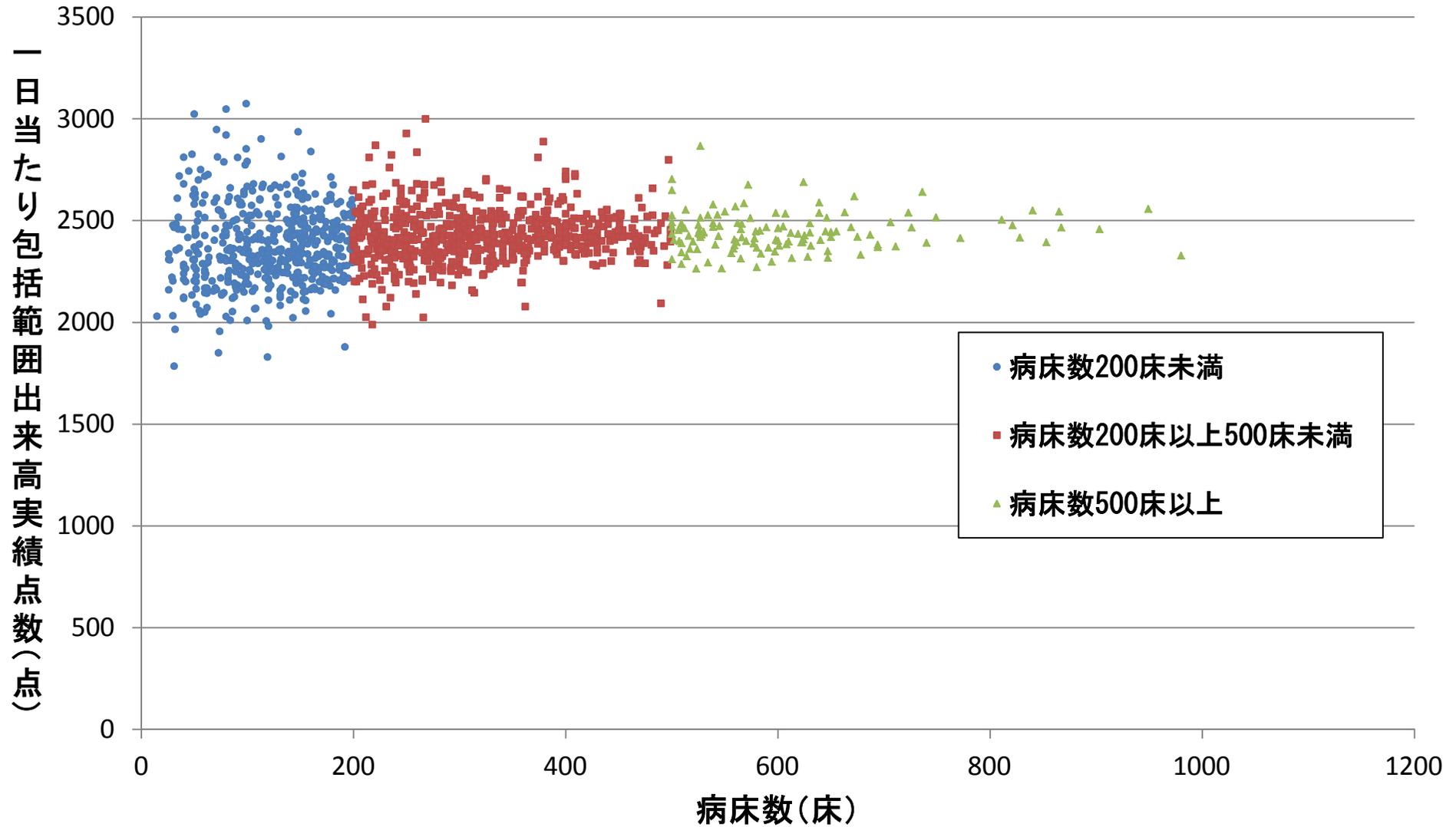
(2) III群病院の類型別集計 ②中規模・小規模病院

○各類型の医療機関数

平成23年度データ	
200床未満	516施設
病床数200床以上500床未満	682施設
病床数500床以上	128施設
合計	1,326施設

平成24年度データ	
200床未満	517施設
病床数200床以上500床未満	681施設
病床数500床以上	128施設
合計	1,326施設

【図5】 病床数と一日あたり包括範囲出来高実績点数(患者補正後・医療機関別)
(DPC病院Ⅲ群 類型②)



平成23年度データ

平成24年度データ

【図6】 各類型(病床数別)と一日あたり包括範囲出来高実績点数(患者数補正後・医療機関別)(DPC病院Ⅲ群・経年比較)

